臨床研究実施のお知らせ

現在、当院において下記の臨床研究を実施しております。本研究の対象者に該当する方で、当院ご入院中の診療情報を臨床研究目的に使用されることをご希望されない場合は、下記お問い合わせ先までご連絡下さい。

1. 臨床研究名
   回復期リハビリテーション病棟における介入戦略の違いが退院後の社会参加に及ぼす影響
―実績指数重視群と補正 mFIM effectiveness 重視群による比較検討―

2. 臨床研究倫理審査小委員会承認番号/承認日
   承認番号：669　／　承認日：2026 年 10 月 21 日

3. 研究責任者名(部署名)
   理学療法士　竹内 優太（リハビリテーション部）

4. 研究の目的
   回復期リハビリテーション病棟退院直後・6 か月後の、社会生活における活動や参加を高めるためには、実績指数と補正 mFIM effectiveness のどちらを高めた状態で退院すべきか、当院回復期リハビリテーション病棟に入院し、当院訪問リハビリを利用した患者を対象に検証すること

5. 本研究の対象期間
   2022 年 4 月から 2025 年 12 月

6. 本研究の対象となる方
   当院回復期リハビリテーション病棟に入院し、退院後に当院訪問リハビリを利用した患者

7. 本研究で使用する診療情報

- 年齢
- 性別
- 入院時 Functional Independence Measure(以下、FIM)合計点、運動、認知項目
- 在院日数
- 退院時 FIM 合計点、運動、認知項目
- 実績指数　※1
- 補正 mFIM effectiveness　※2
- 訪問リハビリ利用開始時･6 か月時 Frenchay Activities Index(以下､FAI) ※3

･訪問リハビリ利用開始時･6 か月時 Life Space Assessment(以下、LSA) ※4

※1　実績指数： 入院期間中に、日常生活の動作（食事や着替え、歩行など）がどれくらい効率的に上達したかを表す指標です。

※2　補正 mFIM effectiveness： 入院時の状態（重症度）の違いに左右されず、リハビリによってどれだけ日常生活の動作が改善したかを公平に評価するための指標です。

※3　FAI（フレンチアイ・アクティビティズ・インデックス)： 家事や買い物、趣味、仕事など、より活発な日常生活や社会生活がどの程度行えているかを評価する尺度です。

※4　LSA（ライフスペース・アセスメント)：「部屋の中から町の外まで」といった、日常生活における活動範囲の広がりや、外出の頻度を評価する尺度です。

8. 個人情報保護への配慮

A. 収集したデータは、匿名化された状態で職場内のパソコンにのみ保存します。
B. データを外部に持ち出すことは厳禁とします。
C. 収集したデータは、個人が特定されないような形で発表します。

9. 診療情報の他研究機関への提供の有無/提供方法

連結情報は当院内のみで管理し、他研究機関等には一切公開いたしません。

10. 研究成果の公表について

2027 年 12 月 1 日～2 日「リハビリテーション・ケア合同研究大会　宮城 2027」にて発表予定。

11. 利益相反

本研究では利益相反関係にある企業などはありません。

12. お問い合わせ先

本研究についてご不明な点やさらに詳しい説明をお聞きになりたい場合等は、下記研究担当者までいつでも遠慮なくご連絡下さい。

<研究担当者>

氏 名　　竹内 優太（たけうち　ゆうた）

職 種　　理学療法士

所属部署　リハビリテーション部

連絡先　　0463-78-1326

以　上